

前回の概要

< 第3回会議の概要報告 >

< アンケート結果報告 >

2004/11/27

1

< 第3回 海岸づくり会議の概要 >

日時	2004年7月25日(日曜日)
場所	鴨川市役所 4階会議室 (13:30 ~ 16:30)
会議の趣旨	<p>漁業や観光、レジャー、市民の憩いの場として貴重な海岸線を、侵食などから守り、ふるさとの自然を将来に残してゆくため、鴨川沿岸(前原海岸・東条海岸)の保全と有効活用をテーマに、市民の方々に海岸利用に関する情報提供を頂くとともに、海岸および漁港の現状と課題についてご紹介しました。3回目の今回は、第2回の会議の概要の報告および海岸・漁港の課題と方策をご紹介しながら、市民の方々との課題の解決に向けた意見交換を行いました。</p>
会議の内容	<p>第3回 鴨川沿岸 海岸づくり会議(参加 約60名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の趣旨説明、参加者紹介 ・森住氏による過去の前原海岸の写真提供 (事務局により説明) ・東条海岸の沿岸生態系 (専門家により説明) ・海岸・漁港の課題と方策について (専門家により説明) ・鴨川漁港前原地区の波除堤整備について (南部漁港事務所により説明) ・意見、情報交換

< 会議の様子 >

16-2

～ 鴨川市役所4F会議室にて～



事務局撮影



事務局撮影



事務局撮影



事務局撮影

< 会議の内容 >

16-3

森住氏による過去の**前原海岸の**写真提供 (事務局)

鴨川の沿岸生態系について (清野氏)
カモちゃん(ゴマフアザラシ)、アカウミガメの生態と
鴨川の伝統文化について

海岸・漁港の課題と方策について (宇多氏)

- ・第2回会議のおさらい
- ・シミュレーションによる海浜変形の予測結果
- ・侵食、越波についての対策案とその効果

鴨川漁港の波除堤整備について (南部漁港事務所)

- ・鴨川漁港の荒天時の状況(2004年7月1日:台風8号)
- ・前原地区の波除堤整備、本港地区の防波堤整備について

フリーディスカッション(意見交換・質疑応答)

2009/11/27

< 参加者からの主な意見・質問 > 16-4

- ・シーワールド前の護岸は直立堤が良いと思う。
- ・沿岸流などの物理的な現象も検討の中に入れて方が良いのではないか？
- ・離岸堤を撤去することで砂が戻らないのか？
- ・はじめからフィッシャリーナの東側を何か違うもので埋めてしまうのはどうか？
- ・社会学・経済学・法律の専門家を交えながら合意形成ができないものか？
- ・海岸のあり方は主体である地域住民・利用者が決めていくべき。

< アンケートについて > 16-5

アンケートの主なご意見

サンドリサイクルの応用として砂袋に砂をつめて人工リーフ的に使う事例もある。護岸は垂直護岸に戻すしかない。全世界的に見て緩傾斜護岸は異常である。

鴨川のケースはかなり進歩的なものだと思う。会議の進行は大切なので議長役を務める総合的な社会学系の専門家が必要なのでは？

議題の事前告知は不可欠。参加者の誘致も兼ねて、次の会議のテーマは何かをしっかりと共有した方がいいと思う。

対応 (検討中も含む)

ホームページ開設